

注3

大学番号：041

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 理工学系研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 藤^{フジ}原^{フナ}詩^シ穂^ホ

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kkikaku-kikaku@shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	16
3	施設・設備の整備状況, 経費	68
4	既設大学等の状況	69
5	教員組織の状況	71
6	留意事項に対する履行状況等	75
7	その他全般的事項	76

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

[松本キャンパス] 〒390-8621
長野県松本市旭3丁目1番1号
[長野(工学)キャンパス] 〒380-8553
長野県長野市若里4丁目17番1号
[上田キャンパス] 〒386-8567
長野県上田市常田3丁目15番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学系研究科 数理・自然情報科学専攻 (修士課程) 修士(理学)	2年	16人	32人	基礎となる学部等 理学部
理工学系研究科 物質基礎科学専攻 (修士課程) 修士(理学)	2年	26人	52人	基礎となる学部等 理学部
理工学系研究科 地球生物圏科学専攻 (修士課程) 修士(理学)	2年	28人	56人	基礎となる学部等 理学部
理工学系研究科 機械システム工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2年	32人	64人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 電気電子工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2年	45人	90人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 土木工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2年	12人	24人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 建築学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2年	30人	60人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 物質工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2年	30人	60人	基礎となる学部等 工学部

理工学系研究科 情報工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	年	45	人	90	人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 環境機能工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	年	20	人	40	人	基礎となる学部等 工学部
理工学系研究科 繊維・感性工学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	年	34	人	68	人	基礎となる学部等 繊維学部
理工学系研究科 機械・ロボット学専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	年	28	人	56	人	基礎となる学部等 繊維学部
理工学系研究科 化学・材料専攻 (修士課程) 修士(工学)	2	年	64	人	128	人	基礎となる学部等 繊維学部
理工学系研究科 応用生物科学専攻 (修士課程) 修士(農学)	2	年	24	人	48	人	基礎となる学部等 繊維学部

(注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

数理・自然情報科学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 16 (-) [-]		人 () ()		人 () ()		0.62倍	
志願者数	11 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	11 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	10 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	10 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.62							

物質基礎科学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 26 (-) [-]		人 () ()		人 () ()		1.19倍	
志願者数	36 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	35 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	32 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	31 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.19							

地球生物圏科学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 28 (-) [-]		人 () ()		人 () ()		1.32倍	
志願者数	43 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	43 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	39 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	37 (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.32							

機械システム工学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 32 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.59倍	
志願者数	62 (1) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	62 (1) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	52 (1) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	51 (1) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.59							

電気電子工学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 45 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.40倍	
志願者数	71 (5) [3]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	69 (5) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	65 (5) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	63 (5) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.40							

土木工学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 12 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.41倍	
志願者数	20 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	20 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	17 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	17 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.41							

建築学専攻

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 30 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	0.80倍	
志願者数	25 (-) [-]	() []	() []	() []		
受験者数	25 (-) [-]	() []	() []	() []		
合格者数	25 (-) [-]	() []	() []	() []		
B 入学者数	24 (-) [-]	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.80					

物質工学専攻

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 30 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	1.40倍	
志願者数	49 (-) [-]	() []	() []	() []		
受験者数	49 (-) [-]	() []	() []	() []		
合格者数	44 (-) [-]	() []	() []	() []		
B 入学者数	42 (-) [-]	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.40					

情報工学専攻

報告年度 区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 45 (-) [-]	人 () []	人 () []	人 () []	1.04倍	
志願者数	50 (-) [1]	() []	() []	() []		
受験者数	50 (-) [1]	() []	() []	() []		
合格者数	48 (-) [1]	() []	() []	() []		
B 入学者数	47 (-) [1]	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.04					

環境機能工学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 20 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.50倍	
志願者数	35 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	35 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	30 (-) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	30 (-) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.50							

繊維・感性工学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 34 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.38倍	
志願者数	55 (1) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	55 (1) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	51 (1) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	47 (1) [1]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.38							

機械・ロボット学専攻

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 28 (-) [-]	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	人 () ()	1.46倍	
志願者数	48 (-) [4]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	47 (-) [3]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	43 (-) [3]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	41 (-) [3]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.46							

化学・材料専攻

区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 64 (-) [-]	人 () () []	人 () () []	人 () () []	1.34倍	
志願者数	96 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
受験者数	96 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
合格者数	87 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	86 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.34					

応用生物科学専攻

区分	平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 24 (-) [-]	人 () () []	人 () () []	人 () () []	1.25倍	
志願者数	44 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
受験者数	44 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
合格者数	31 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	30 (-) [1]	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.25					

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ()内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

数理・自然情報科学専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[10]	[]	[]	[]			
2年次	/		[]	[]			
計	[10]	[]	[]	[]			

物質基礎科学専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[31]	[]	[]	[]			
2年次	/		[]	[]			
計	[31]	[]	[]	[]			

地球生物圏科学専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[37]	[]	[]	[]			
2年次	/		[]	[]			
計	[37]	[]	[]	[]			

機械システム工学専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[51]	[]	[]	[]			
2年次	/		[]	[]			
計	[51]	[]	[]	[]			

電気電子工学専攻

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[63]	[]	[]	[]			
2年次	/		[]	[]			
計	[63]	[]	[]	[]			

土木工学専攻

学 年 \ 報告年度	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 17	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計	[2] 17		[]		

建築学専攻

学 年 \ 報告年度	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 24	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計	[-] 24		[]		

物質工学専攻

学 年 \ 報告年度	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 42	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計	[-] 42		[]		

情報工学専攻

学 年 \ 報告年度	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 47	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計	[1] 47		[]		

環境機能工学専攻

学 年 \ 報告年度	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 30	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	
計	[1] 30		[]		

繊維・感性工学専攻

学 年	報告年度 平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 47	[]	[]	[]	
2年次			[]	[]	
計			[1] 47	[]	

機械・ロボット学専攻

学 年	報告年度 平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 41	[]	[]	[]	
2年次			[]	[]	
計			[3] 41	[]	

化学・材料専攻

学 年	報告年度 平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 86	[]	[]	[]	
2年次			[]	[]	
計			[1] 86	[]	

応用生物科学専攻

学 年	報告年度 平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 30	[]	[]	[]	
2年次			[]	[]	
計			[1] 30	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

数理・自然情報科学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	10 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	10 人	0 人					0 %

物質基礎科学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	31 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	31 人	0 人					0 %

地球生物圏科学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	37 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	37 人	0 人					0 %

機械システム工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	51 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	51 人	0 人					0 %

電気電子工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	63 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	63 人	0 人					0 %

土木工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	17 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	17 人	0 人					0 %

建築学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	24 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	24 人	0 人					0 %

物質工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	42 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	42 人	0 人					0 %

情報工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	47 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	47 人	0 人					0 %

環境機能工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	30 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	30 人	0 人					0 %

繊維・感性工学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	47 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人	—	0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	47 人	0 人					0 %

機械・ロボット学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	41 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人	—	0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	41 人	0 人					0 %

化学・材料専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	86 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人	—	0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	86 人	0 人					0 %

応用生物科学専攻

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	30 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人	—	0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
合 計	30 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学系研究科 数理・自然情報科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	先端科学特別講義	1-2後通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)	
	情報基礎特論第1	1-2通		2		1							
	プログラミング言語特論	1-2前		2		1							
	計算理論	1-2前		2		1							
	MOIT特論	1-2通		2		1							
	繊維技術士特論	1-2通		2									
	産学連携特別講義	1-2通		2		2							
	国際連携特別講義	1-2通		2		1							
	Textile Technology	1-2通		2		2	2						
専攻授業科目	数理構造	群論と対称性	1-2後	2		1						カリキュラム編成調整のため(24) 専任教員から兼任教員へ変更(24)	
		可換代数学	1-2後	2			4						
		ネットワーク多元環論	未開講		2		1						隔年開講(24)
		有限群の表現論	未開講		2								隔年開講(24)
	空間構造	代数的位相幾何学	1-2前		2		1					カリキュラム編成調整及び担当教員追加のため(24)	
		対称性の幾何学	未開講		2								隔年開講(24)
		微分位相幾何学	後		2					1			
		ホモトピー代数学	1-2前		2		1						隔年開講(24)
	数理解析	確率論・確率過程論	未開講		2			1				隔年開講(24)	
		多変数関数論	1-2後		2		1					隔年開講(24)	
		関数環論	未開講		2		1					隔年開講(24)	
		応用偏微分方程式論	1-2前		2		1	4				昇進のため(24)	
偏微分方程式論		1-2後		2		1							
自然情報学	非線形現象学	後		2			1				カリキュラム編成調整のため(24)		
	可積分系論	1-2前		2			1				隔年開講(24)		
	力学系論	未開講		2			1				カリキュラム編成調整のため(24)		
	セミナーⅠ	1-2通	2			7 6	3 4			2	昇進のため(24)		
	セミナーⅡ	1-2通	2			7 6	3 4			2	昇進のため(24)		
	特別研究	1~2通	10			7 6	3 4			2	昇進のため(24)		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	5科目 25	科目 0	科目 28	科目 3 [0]	科目 25 [0]	科目 0 [0]	科目 28 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ネータ多元環論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
2	有限群の表現論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
3	対称性の幾何学	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
4	ホモトピー代数学	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
5	確率論・確率過程論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
6	多変数関数論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
7	関数環論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
8	可積分系論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>※大学の所見 当初より隔年開講となっており、平成25年度に開講予定のため、学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 ガイダンス及び履修登録の手引きで周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.28}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 物質基礎科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1-2後通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1-2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1-2前		2		1						
	計算理論	1-2前		2		1						
	MOT特論	1-2通		2		1						
	繊維技術士特論	1-2通		2								
	産学連携特別講義	1-2通		2		2						
	国際連携特別講義	1-2通		2		1						
	Textile Technology	1-2通		2		2	2					
	物性物理学	磁性物質論	1-2後		2			1				
固体物性物理学		1前		2		1	+					
磁気共鳴論		1-2前		2		1						
固体スペクトロスコピー		前後		2		1	1		+		カリキュラム編成調整及び昇進のため(24)	
統計物理学		1-2前		2								
素粒子・宇宙物理学		高エネルギー理論	1後		2							
	宇宙線物理学	1前		2		1						
	高エネルギー実験	1後		2		1	1					
	物理と対称性	1-2前		2		1						
	場の理論	1-2前後		2		1	1		+		昇進のため(24)	
	宇宙放射線計測学	1後		2								
専攻授業科目	計測化学特論	1-2前		2		1						昇進のため(24)
	構造・計測化学	1-2後		2		1						
	電気化学	1-2前		2		1	+					
	量子化学	1-2前		2		1						
	化学計測学	1-2後		2								
	分子物質変換学	1-2後		2		1						
	分光化学	1-2後		2			1					
	超分子化学	1-2前		2		1			1			
反応・物性化学	分子反応科学	未開講		2		1					カリキュラム編成調整のため(24)	
	界面物性科学	1-2通		2								
	分子合成化学	1-2後		2			1					
	複素環化学	1-2前		2		1						
特別研究	セミナーⅠ	1-2通	2			13			2		昇進のため(24)	
	セミナーⅡ	1-2通	2			11			4			
	特別研究	1~2通	10			13			2			
						11	9		4		昇進のため(24)	
						13	9		4		昇進のため(24)	
						13	9		4		昇進のため(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 31	科目 0	科目 34	科目 3 [0]	科目 31 [0]	科目 0 [0]	科目 34 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	分子反応科学	2	1・2通	専門	選択	カリキュラム編成調整のため, 平成24年度は未開講となった。平成25年度は確実に開講する。
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>※大学の所見 選択科目であり, 平成25年度に開講予定のため, 学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 ガイダンス及び履修登録の手引きで周知した。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 地球生物圏科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOT特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
地層科学	古環境復元論	1通		2			2					履修希望者がいなかったため(24)
	地殻変動論	1通		2		1						
	未開講											
	山地形成論	1通		2								
	地殻構造形成論	1通		2								
シーケンス層序学	1通		2		1							
地球物質科学	未開講											履修希望者がいなかったため(24)
	火成岩造岩鉱物学特論	1通		2								
	マグマ循環論	1後		2		1						
	相平衡岩石学	1前		2		1						
	鉱物変移論	1通		2		1						
地殻火成活動史	1通		2		1							
生体生物学	発生学	1・2後		2			1					昇進のため(24)
	遺伝子情報学	1・2後		2								
	比較発生学	1・2後		2			1					
	情報生理学	1・2後		2		1	4					
専攻授業科目	多様性植物学	1・2前		2		1						昇進のため(24)
	進化生態遺伝学	1・2後		2		1						
	適応生態学	1・2前		2		1						
	植物進化学	1・2後		2			1					
	進化生態学	1・2後		2		1						
	系統発生学	1・2後		2			1		4			
地球システム解析(生態システム解析)	環境計測学	前後		2		1						カリキュラム編成調整のため(24)
	1・2前			2		1	1					
	陸水系堆積論	1・2後		2		1						
地域環境学	地域環境学	1・2後		2			2					昇進のため(24)
	水生生物生態学	1・2後		2								
	化学生態学	1・2後		2		1	4					
	集水域システム論	1・2後		2		1						
セミナー	セミナーⅠ	1・2通	2			16	9			4		昇進のため(24)
						14	10					
	セミナーⅡ	1・2通	2			16	9			4		
特別研究						14	10					昇進のため(24)
	特別研究	1~2通	10			16	9			4		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 36	科目 0	科目 39	科目 3 [0]	科目 36 [0]	科目 0 [0]	科目 39 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 機械システム工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOI特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						教育効果の向上のため(24) 履修希望者がいなかったため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1			
	応用数学演習第2	1・2通 未開講		2			1					
	応用数学演習第3	1・2通		2		1						
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1			
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1					
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1						
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	2通		2		1	2					
	応用物理特別実験第1	1通		4		1	2					
	応用物理特別実験第2	2通		4		1	2					
		システム制御特論	1前		2		1			1		
精密機構特論		1後		2		1				1		
非線形システム制御特論		1前		2			1					
計測制御システム演習第1		1通		2		2	1		1			
計測制御システム演習第2		1通		2		2	1		1			
計測制御システム特別実験第1		1通		4		2	1		1			
計測制御システム特別実験第2		1通		4		2	1		1			
機械材料学特論		1後		2		1				1		
材料変形学特論		1前		2		1						
固体力学特論		1前		2		1				1		
機械加工学特論		1後		2			1					
動的システム設計特論		1後		2			1					
塑性加工学特論		1後		2			1					
構造工学特論		1後		2			1					
材料・設計システム演習第1		1通		2		3	4			2		
材料・設計システム演習第2		1通		2		3	4			2		
材料・設計システム特別実験第1		1通		4		3	4			2		
材料・設計システム特別実験第2		2通		4		3	4			2		
乱流輸送現象特論		1前		2			1					
熱流体解析学特論		1後		2		1	1					

専攻 授業科目	熱工学特論	1前	2		4		1	4	カリキュラム編成調整のため(24)	
	伝熱工学特論	1後	2			4	1		退職及び昇進のため(24)	
	熱流体システム演習第1	1通	2	1		3	1	4	退職に伴う担当教員の見直しのため(24)	
	熱流体システム演習第2	1通	2	1		3	1	4	退職及び昇進のため(24)	
	熱流体システム特別実験第1	1通	4	1		3	1	4	退職及び昇進のため(24)	
	熱流体システム特別実験第2	2通	4	1		3	1	4	退職及び昇進のため(24)	
	超精密加工実習Ⅰ	1・2前	1		1	4			担当教員の見直しのため(24)	
	超精密加工実習Ⅱ	1・2通	1		1	4			担当教員の見直しのため(24)	
	超精密加工工学特論Ⅰ	1・2前	2	1	1			1		
	超精密加工工学特論Ⅱ	1・2前	2	1	1					
	超精密加工工学特論Ⅲ	未開講								
	超精密加工工学特論Ⅳ	1・2前	2		1					履修希望者がいなかったため(24)
	固体・熱流体解析学特論	未開講	1							
	固体・熱流体応用解析演習	1・2前	2		1	2			1	履修希望者がいなかったため(24)
	最適設計特論	未開講								履修希望者がいなかったため(24)
	最速設計特論	1・2後	2		2	2	1		2	担当教員の見直しのため(24)
	発明的問題解決理論	1・2後	1			1				
	表面処理技術実習Ⅰ	1・2後	1		1					
	表面処理技術実習Ⅱ	1・2後	1		1					
	表面処理特論	1・2後	2		2					
	先端材料学特論	1・2後	1							
	計測技術講義・実習	1・2前	2		1	4				担当教員の見直しのため(24)
	評価技術講義・実習	1・2後	2		2	4				退職のため(24)
	精密位置決め技術実習	1・2後	1		2	2			1	
	自動搬送講義・実習	1・2前	2		1					
	精密位置決め技術特論	1・2後	2		2	2			1	
	管理技術特論Ⅰ	1・2前	2		1	4				担当教員の見直しのため(24)
	管理技術特論Ⅱ	1・2前	2			1				
	管理技術特論Ⅲ	1・2前	2			1				
	管理技術特別講義	1・2後	1			1				
	機械システム演習第1	1通	2		9	8	1		4	退職及び昇進のため(24)
	機械システム演習第2	2通	2		9	8	1		4	退職及び昇進のため(24)
	機械システム特別実験第1	1通	4		9	8	1		4	退職及び昇進のため(24)
	機械システム特別実験第2	2通	4		9	8	1		4	退職及び昇進のため(24)
	先端固体力学特論	未開講								
	伝熱学特論	1・2通	2		2	2			1	履修希望者がいなかったため(24)
	材料加工学特論	未開講								履修希望者がいなかったため(24)
	メカトロニクス特論	1・2通	2		4	4	1		4	退職及び昇進のため(24)
	流体力学特論	未開講								
	学外特別講義	1・2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)
学外特別実習 (研究指導)	未開講									
	1・2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し

修正をしてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	85	0	85	0	85	0	85	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 電気電子工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOI特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
Textile Technology	1・2通		2		2	2						
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						教育効果の向上のため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1			
	応用数学演習第2	1・2通		2			1					
	応用数学演習第3	1・2通		2		1						
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1			
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1					
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1						
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	1通		2		1	2					
	応用物理特別実験第1	1通		4		1	2					
	応用物理特別実験第2	1通		4		1	2					
	半導体工学特論	1後		2			1					カリキュラム編成調整のため(24)
	回路素子工学	1前		2		1						
	電子材料特論	1前		2		1			1			
	電子材料演習第1	1通		2			1					
	電子材料演習第2	1通		2		1			1			
	電子材料演習第3	1通		2		1						
	電子材料演習第4	1通		2			1					
	電子材料特別実験第1	1通		4		1	1					
	電子材料特別実験第2	1通		4		1			1			
	電子材料特別実験第3	1通		4		1						
	電子材料特別実験第4	1通		4			1					
	電子デバイス特論	1後		2		1	1					
	機能デバイス特論	1後		2			1					
	エネルギーデバイス特論	1前		2		1						
	光電子デバイス特論	1前		2			1					
	電気化学・電池工学特論	1後		2			1					
	量子デバイス特論	1後		2			1					
	機能デバイス演習第1	1通		2		1	1					
	機能デバイス演習第2	1通		2			1					
	機能デバイス演習第3	1通		2		1						
	機能デバイス演習第4	1通		2			1					
	機能デバイス特別実験第1	1通		4		1	1					
機能デバイス特別実験第2	1通		4			1						
機能デバイス特別実験第3	1通		4		1	1						

専攻授業科目	機能デバイス特別実験第4	1通	4		1			
	電気回路特論	1前	2	1	1	4	昇進のため(24)	
	磁気回路特論	1前	2	1				
	回路システム演習第1	1通	2	1	1	4	昇進のため(24)	
	回路システム演習第2	1通	2	1				
	回路システム特別実験第1	1通	4	1	1	4	昇進のため(24)	
	回路システム特別実験第2	1通	4	1				
	エネルギー変換工学	1後	2	1		1		
	エネルギー工学演習	1通	2	1		1		
	エネルギー工学特別実験	1通	4	1		1		
	通信方式特論第1	1前	2	1		1		
	通信方式特論第2	1前	2	1				
	通信方式特論第3	1後	2		1			
	音響工学特論	1前	2		1			
	情報処理特論第1	1前	2	1				
	情報処理特論第2	1前	2		1			
	情報処理特論第3	1後						
	情報処理特論第3	1前	2		1			カリキュラム編成調整のため(24)
	情報通信演習第1	1通	2	1		1		
	情報通信演習第2	1通	2	1				
		未開講						
	情報通信演習第3	1通	2		1			履修希望者がいなかったため(24)
	情報通信演習第4	1通	2		1			
	情報通信演習第5	1通	2	1				
	情報通信演習第6	1通	2		1			
	情報通信演習第7	1通	2		1			
	情報通信特別実験第1	1通	4	1		1		
	情報通信特別実験第2	1通	4	1				
		未開講						
	情報通信特別実験第3	1通	4		1			履修希望者がいなかったため(24)
	情報通信特別実験第4	1通	4		1			
	情報通信特別実験第5	1通	4	1				
	情報通信特別実験第6	1通	4		1			
	情報通信特別実験第7	1通	4		1			
	知覚情報論	1前	2	1				
		未開講						
	知覚情報処理演習	1通	2	1				履修希望者がいなかったため(24)
		未開講						
	知覚情報処理特別実験	1通	4	1				履修希望者がいなかったため(24)
	モバイル制御特論	1前	2					
	モバイルシステム制御演習第1	1通	2					
	モバイルシステム制御演習第2	1通	2					
	モバイルシステム制御特別実験第1	1通	4					
	モバイルシステム制御特別実験第2	1通	4					
	宇宙環境利用工学特論	1前	2					
小型衛星システム特論	1前	2						
モバイル機器用高分子材料特論	1後	2						
航空工学特論	1後	2						
慣性航法機器特論	1前	2						
	後							
サーボ機器特論	1前	2					カリキュラム編成調整のため(24)	
モバイル制御応用特論	1通	4						
学外特別講義	1・2通	2	1					
学外特別実習第1	1・2通	2	1					
学外特別実習第2	1・2通	2	1					
(研究指導)								

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 98	科目 0	科目 98	科目 0	科目 98	科目 0	科目 98	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 土木工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOI特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1		教育効果の向上のため(24)	
	応用数学演習第2	1・2通		2			1				教育効果の向上のため(24) 履修希望者がいなかったため(24)	
	応用数学演習第3	1・2通		2		1					教育効果の向上のため(24)	
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1		教育効果の向上のため(24)	
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1				教育効果の向上のため(24)	
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1					教育効果の向上のため(24)	
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	1通		2		1	2				カリキュラム編成調整のため(24)	
	応用物理特別実験第1	1通		4		1	2					
	応用物理特別実験第2	1通		4		1	2				カリキュラム編成調整のため(24)	
	地盤防災工学	1前		2			1					
	岩盤水理学特論	1後		2		1						
	地震工学特論	1前		2		1						
	環境保全工学特論	1後		2			1					
	地盤防災演習	1通		4			1				履修希望者がいなかったため(24)	
	岩盤水理学演習	1通		4		1						
	地震工学演習	1通		4		1						
	環境保全工学演習	1通		4			1					
	地盤防災特別実験	1通		4			1				履修希望者がいなかったため(24)	
	岩盤水理学特別実験	1通		4		1						
	地震工学特別実験	1通		4		1						
	環境保全工学特別実験	1通		4			1					
	地域・交通計画特論	1後		2			1					
	水工学特論	1後		2					1		カリキュラム編成調整のため(24)	
	地域・交通計画演習	1通		4			1				履修希望者がいなかったため(24) 履修希望者がいなかったため(24)	
	水工学演習	1通		4					1		カリキュラム編成調整のため(24)	
	地域・交通計画特別実験	1通		4			1				履修希望者がいなかったため(24)	

専攻 授業 科目		未開講							履修希望者がいなかったため(24)
	水工学特別実験	1通	4					1	カリキュラム編成調整のため(24)
	地水環境工学特論	1前	2		1				
	地盤の力学特論	1後	2					1	
	地水環境工学演習	2通	4		1				
	地盤の力学演習	1通	4					1	
	地水環境工学特別実験	2通	4		1				
	地盤の力学特別実験	1通	4					1	
	地域環境計画特論	1後	2			1			
	土木建造物の劣化診断特論	1・2後	2					1	
	水文学特論	1前	2			1			
	地域環境計画演習	1通	4			1			
	土木建造物の劣化診断演習	未開講 1・2通	4					1	履修希望者がいなかったため(24)
	水文学演習	1後～2前	4			1			
	地域環境計画特別実験	1通	4			1			
	土木建造物の劣化診断特別実験	未開講 1・2通	4					1	履修希望者がいなかったため(24)
	水文学特別実験	1後～2前	4			1			
	数値解析特論	1後	2		1	+			昇進のため(24)
	橋梁工学特論	1前	2		1				
	計算構造力学	1前	2			1			
	数値解析演習	未開講 1通	4		1	+			履修希望者がいなかったため(24) 昇進のため(24)
	橋梁工学演習	1通	4		1				
	計算構造力学演習	未開講 1通	4			1			履修希望者がいなかったため(24)
	数値解析特別実験	未開講 1通	4		1	+			履修希望者がいなかったため(24) 昇進のため(24)
	橋梁工学特別実験	1通	4		1				
	計算構造力学特別実験	未開講 1通	4			1			履修希望者がいなかったため(24)
	学外特別講義	未開講 1・2通	2		1				履修希望者がいなかったため(24)
学外特別実習 (研究指導)	1・2通	2		1					

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	69	0	69	0	69	0	69	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 建築学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOI特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
Textile Technology	1・2通		2		2	2						
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						教育効果の向上のため(24) 履修希望者がいなかったため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1			
	応用数学演習第2	1・2通		2			1					
	応用数学演習第3	1・2通		2		1						
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1			
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1					
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1						
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	1・2通		2		1	2					
	応用物理特別実験第1	1・2通		4		1	2					
応用物理特別実験第2	1・2通		4		1	2						
専攻授業科目	建築構造設計学Ⅰ	1前		2		1						履修希望者がいなかったため(24)
	マトリクス構造解析演習	2通		4		1						
	マトリクス構造解析特別実験	2通		4		1						
	建築環境設計学	1後		2		1						
	建築環境設計学演習	2通		4		1						
	建築環境設計学実験	2通		4		1						
	空間設計	1前		2					1			
	建築設計演習Ⅰ	1・2通		4					1			
	空間設計特別実験	2通		4					1			
	建築設計インターンシップ	1・2通		4		1			1			
	建築保存再生設計学	1後		2		1						
	建築設計演習Ⅱ	1通		4		1						
	都市形態論特別実験	2通		4		1						
	建築保存再生設計インターンシップ	1・2通		4		1						
	空間構造設計学特論	1後		2			1					
	振動学特論	1前		2			1					
	建築設計演習Ⅲ	1通		4		1						
	振動学演習	1通		4			1					
	空間構造設計学特別実験	1通		4			1					
	振動学特別実験	2通		4			1					
建築設備設計学	1前		2		1							
建築構造設計学Ⅱ	1後		2		1	1						

認知環境システム学特論	1後	2				1			
サステナブル建築設計学	1後	2				1			
建築設備設計学演習	1通	4			1				
建築構造設計学演習	1通	4		1		4			昇進のため(24)
サステナブル建築設計学演習	1通	4				1			
認知環境システム学演習	1通	4						1	
建築設備設計学実験	1通	4		1					
建築構造設計学実験	1通	4		1		4			昇進のため(24)
サステナブル建築設計学実験	1通	4				1			
認知環境システム学特別実験	2通	4						1	
建築構造設計インターンシップ	1通	4		1		2			昇進のため(24)
	未開講								
建築設備設計インターンシップ	1通	4		1		1			履修希望者がいなかったため(24)
	未開講								
学外特別講義	1+2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)
	未開講								
学外特別実習 (研究指導)	1+2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	61	0	61	0	61	0	61	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 物質工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考	
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1				カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1					
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1					
	計算理論	1・2前		2		1					
	MOI特論	1・2通		2		1					
	繊維技術士特論	1・2通		2							
	産学連携特別講義	1・2通		2		2					
	国際連携特別講義	1・2通		2		1					
	Textile Technology	1・2通		2		2	2				
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1					教育効果の向上のため(24) 履修希望者がいなかったため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1				
	数理解析特論	1後		2		1					
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1		
	応用数学演習第2	1・2通		2			1				
	応用数学演習第3	1・2通		2		1					
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1		
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1				
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1					
	応用物理学特論第1	1前		2		1					
	応用物理学特論第2	1後		2			1				
	応用物理学特論第3	1前		2			1				
	応用物理演習第1	1通		2		1	2				
	応用物理演習第2	1・2通		2		1	2				
	応用物理特別実験第1	1・2通		4		1	2				
	応用物理特別実験第2	1・2通		4		1	2				
	精密合成化学特論	1・2前 未開講		2					1		隔年開講のため(24) 隔年開講のため(24) 隔年開講のため(24) 昇進のため(24) 昇進のため(24) 履修希望者がいなかったため(24) 昇進のため(24) 昇進のため(24)
	有機合成化学特論	1・2後 未開講		2		1					
	生物化学特論	1・2前 未開講		2		1			1		
	生物機能工学特論	1・2前 未開講		2			1				
	有機反応場論	1・2前		2		1	1				
	精密合成化学演習	2通		2					1		
	有機合成化学演習	1通		2		1					
	生物化学演習	2通		2		1			1		
	生物機能工学演習	1通		2			1				
	集合体化学演習	2通		2		1	1				
	精密合成化学特別実験第1	1通		2					1		
	精密合成化学特別実験第2	2通		2					1		
	有機合成化学特別実験第1	1通		2		1					
	有機合成化学特別実験第2	2通		2		1					
	生物化学特別実験第1	1通		2		1			1		
	生物化学特別実験第2	2通		2		1			1		
	生物機能工学特別実験第1	1通		2			1				
	生物機能工学特別実験第2	2通		2			1				
	集合体化学特別実験第1	1・2通 未開講		2		1	1				
	集合体化学特別実験第2	1・2通		2		1	1				

専攻 授業 科目	分子変換化学特別講義	未開講 1+2前	1						隔年開講のため(24)	
	生物資源化学特別講義	未開講 1+2前	1						隔年開講のため(24)	
	高分子化学特論	1後	2		1					
	触媒設計論	1後	2		1			1		
	高分子化学演習	1通	2			1				
	触媒設計演習	2通	2		1			1		
	高分子化学特別実験第1	1通	2			1				
	高分子化学特別実験第2	2通	2			1				
	触媒合成特別実験第1	1通	2		1			1		
	触媒合成特別実験第2	2通	2		1			1		
	応用物理化学特別講義	未開講 1+2前	1							隔年開講のため(24)
	分子化学工学特論	1・2後	2			1				
	分子化学工学演習	1通	2			1				
	分子化学工学特別実験第1	1通	2			1				
	分子化学工学特別実験第2	2通	2			1				
	機器分析化学	1後	2			1				
	無機材料化学特論	1前	2			1				
	無機材料工学特論	1前	2		1					
	材料表面工学	1前	2		1					
	機器分析化学演習	2通	2			1				
	無機材料化学演習	1通	2			1				
	無機材料工学演習	2通	2		1					
	電気化学演習	1通	2		1					
	機器分析化学特別実験第1	1通	2			1				
	機器分析化学特別実験第2	2通	2			1				
	無機材料化学特別実験第1	1通	2			1				
	無機材料化学特別実験第2	2通	2			1				
	無機材料工学特別実験第1	1通	2		1					
	無機材料工学特別実験第2	2通	2		1					
	表面分析特別実験第1	1通	2		1					
	表面分析特別実験第2	2通	2		1					
	無機・分析化学特別講義	未開講 1+2前	1							隔年開講のため(24)
	物質工学特別演習	未開講 1通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)
	物質工学特別実験	未開講 1通	4		1					履修希望者がいなかったため(24)
	食品バイオテクノロジー	1前	2		1	2				
					2	3				
	応用食品プロセス工学	1前	2		4	4				昇進のため(24)
	食品科学	1前	2							
	企業経営概論	1後	2							
	食品バイオテク実習	1前	1		1	2				
食品プロセス実習	1通	1		2	1					
機能性食品特別講義第1	未開講 1+2通	1							隔年開講のため(24)	
機能性食品特別講義第2	未開講 1+2通	1							隔年開講のため(24)	
食品バイオテク演習	1通	2			1					
食品プロセス演習	2通	2			1					
食品バイオテク実験第1	1通	2		1						
食品バイオテク実験第2	2通	2		1						
食品プロセス実験第1	1通	2			1					
食品プロセス実験第2	2通	2			1					
学外特別講義	未開講 1+2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)	
学外特別実習 (研究指導)	未開講 1+2通	2		1					履修希望者がいなかったため(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 0	科目 95	科目 0	科目 95	科目 0	科目 95	科目 0	科目 95	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	有機合成化学特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
2	生物化学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
3	生物機能工学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
4	分子変換化学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
5	生物資源化学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
6	応用物理化学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
7	無機・分析化学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
8	機能性食品特別講義第1	1	1・2通	専門	選択	隔年開講のため
9	機能性食品特別講義第2	1	1・2通	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>※大学の所見 当初より隔年開講となっており、平成25年度に開講予定のため、学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 専攻内のガイダンス及び履修案内で周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.09}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 情報工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1-2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1-2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1-2前		2		1						
	計算理論	1-2前		2		1						
	MOI特論	1-2通		2		1						
	繊維技術士特論	1-2通		2								
	産学連携特別講義	1-2通		2		2						
	国際連携特別講義	1-2通		2		1						
	Textile Technology	1-2通		2		2	2					
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						教育効果の向上のため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1-2通		2		1			1			
	応用数学演習第2	1-2通		2			1					
	応用数学演習第3	1-2通		2		1						
	応用数学特別実験第1	1-2通		4		1			1			
	応用数学特別実験第2	1-2通		4			1					
	応用数学特別実験第3	1-2通		4		1						
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	1通		2		1	2					
	応用物理特別実験第1	1通		4		1	2					
	応用物理特別実験第2	1通		4		1	2					
共通講座科目	情報基礎特論第2	1-2通		2			1					カリキュラム編成調整のため(24) 担当教員を兼任から専任に変更(24)
	情報基礎特論第3	1-2通		2		1						
	情報基礎演習第1	1通		2		1	1		1			
	情報基礎演習第2	1通		2		1	1			1		
	情報基礎演習第3	2通		2		1	1					
	情報基礎演習第4	2通		2		1	1					
	情報基礎特別実験第1	1通		4		1	1		1			
	情報基礎特別実験第2	1通		4		1	1			1		
	情報基礎特別実験第3	2通		4		1	1			1		
	情報基礎特別実験第4	2通		4		1	1					
	知能情報特論第1	1-2通		2			1					
	知能情報特論第2	1-2通		2		1						
	知能情報特論第3	1-2通		2		1						
	知能情報特論第4	1-2後		2			1					
	知能情報演習第1	1通		2		1	1					
	知能情報演習第2	1通		2		2						
	知能情報演習第3	2通		2		1	1					
	知能情報演習第4	2通		2		2						
	知能情報演習第5	2通		2		1	1					
	知能情報特別実験第1	1通		4		1	1					
	知能情報特別実験第2	1通		4		2						
	知能情報特別実験第3	2通		4		1	1					

専攻授業科目	知能情報特別実験第4	2通	4	2				
	知能情報特別実験第5	2通	4	1	1			
	計算機システム特論	1-2前	2		1			
	応用情報工学第3	1-2通	2		1			
	計算機デバイス特論	1-2前	2	1				
		未開講						
	情報システム特論第1	1-2前	2		1		隔年開講のため(24)	
	情報システム特論第2	1-2前	2	1				
	情報システム演習第1	1通	2	1	1			
	情報システム演習第2	1通	2		2			
		未開講						
	情報システム演習第3	1通	2	1	1		履修希望者がいなかったため(24)	
	情報システム演習第4	2通	2		2			
	情報システム演習第5	2通	2		2			
	情報システム特別実験第1	1通	4	1	1			
	情報システム特別実験第2	1通	4		2			
	情報システム特別実験第3	2通	4	1	1			
	情報システム特別実験第4	2通	4		2			
	情報システム特別実験第5	2通	4		2			
		未開講						
	情報計測特論第1	1-2前	2		1		隔年開講のため(24)	
	情報計測特論第2	1-2後	2	1				
		未開講						
	応用情報工学第1	1-2後	2		1		隔年開講のため(24)	
	応用情報工学第2	1-2前	2	1				
	情報計測演習第1	1通	2	1	3			
	情報計測演習第2	1通	2	1				
	情報計測演習第3	2通	2	1	3			
	情報計測演習第4	2通	2	1				
	情報計測特別実験第1	1通	4	1	3			
	情報計測特別実験第2	1通	4	1				
	情報計測特別実験第3	2通	4	1	3			
	情報計測特別実験第4	2通	4	1				
	情報メディア学特論第1	1-2前	2		1			
		前						
	情報メディア学特論第2	1-2後	2		1		カリキュラム編成調整のため(24)	
	情報メディア学特論第3	1-2後	2		1			
	情報メディア学演習第1	1通	2	1	1			
	情報メディア学演習第2	1通	2	1	1			
	情報メディア学演習第3	2通	2	1	1			
	情報メディア学演習第4	2通	2	1	1			
	情報メディア学特別実験第1	1通	4	1	1			
	情報メディア学特別実験第2	1通	4	1	1			
	情報メディア学特別実験第3	2通	4	1	1			
	情報メディア学特別実験第4	2通	4	1	1			
	前							
情報セキュリティ特論	1-2通	2	1			カリキュラム編成調整のため(24) 担当教員を兼任から専任に変更(24)		
セキュリティ社会システム特論	1-2後	2	1					
情報セキュリティ演習第1	1通	2	1	1	1	担当教員を兼任から専任に変更(24)		
情報セキュリティ演習第2	2通	2	1	1	1	担当教員を兼任から専任に変更(24)		
情報セキュリティ特別実験第1	1通	4	1	1	1	担当教員を兼任から専任に変更(24)		
情報セキュリティ特別実験第2	2通	4	1	1	1	担当教員を兼任から専任に変更(24)		
	未開講							
応用情報科学	1-2前	2	1			隔年開講のため(24)		
	未開講							
応用情報工学	1-2後	2	1			隔年開講のため(24)		
	未開講							
組込システム特論第1	1前	2		1		履修希望者がいなかったため(24)		
	未開講							
組込システム特論第2	1前	2		1		履修希望者がいなかったため(24)		
	未開講							
組込システム特論第4	1前	2				履修希望者がいなかったため(24)		
	未開講							
組込システム特論第6	1前	2				履修希望者がいなかったため(24)		
	未開講							
組込システム特論第8	1前	2	1			履修希望者がいなかったため(24)		
組込システム演習第1	2前	2						

組込システム演習第2	2前	2			1			
組込システム演習第3	2前	2						
組込システム演習第5	2前	2						
組込システム演習第6	2前	2						
組込システム演習第8	2前	2		1				
組込システム特別実験第1	2後	4			1			
組込システム特別実験第2	2後	4					1	
	未開講							
組込技術セミナー第1	1前	2						履修希望者がいなかったため(24)
組込技術セミナー第2	2前	2						
	未開講							
情報セキュリティ特論第1	1前	2						履修希望者がいなかったため(24)
情報セキュリティ特論第2	2前	2		1				
	未開講							
イノベーションマネジメント特論第1	1前	2						履修希望者がいなかったため(24)
イノベーションマネジメント特論第2	2前	2						
システムLSI設計開発プロジェクト第1	2前	2						
システムLSI設計開発プロジェクト第2	2前	2						
プロセッサ設計開発プロジェクト第1	2前	2						
プロセッサ設計開発プロジェクト第2	2前	2						
学外特別研修第1	1後	4						
学外特別研修第2	1後	4						
	未開講							
学外特別講義	1+2通	2		1				履修希望者がいなかったため(24)
	未開講							
学外特別実習 (研究指導)	1+2通	2		1				履修希望者がいなかったため(24)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	125	0	125	0	125	0	125	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内には、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	情報基礎特論第3	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
2	情報システム特論第1	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
3	情報計測特論第1	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
4	応用情報工学第1	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
5	応用情報科学	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
6	応用情報工学	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>※大学の所見 当初より隔年開講となっており、平成25年度に開講予定のため、学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 専攻内のガイダンス及び履修案内で周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.04}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 環境機能工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOI特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
Textile Technology	1・2通		2		2	2						
共通講座科目	応用数学特論	1前		2		1						教育効果の向上のため(24) 履修希望者がいなかったため(24)
	応用解析学特論	1後		2			1					
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習第1	1・2通		2		1			1			
	応用数学演習第2	1・2通		2			1					
	応用数学演習第3	1・2通		2		1						
	応用数学特別実験第1	1・2通		4		1			1			
	応用数学特別実験第2	1・2通		4			1					
	応用数学特別実験第3	1・2通		4		1						
	応用物理学特論第1	1前		2		1						
	応用物理学特論第2	1後		2			1					
	応用物理学特論第3	1前		2			1					
	応用物理演習第1	1通		2		1	2					
	応用物理演習第2	1通		2		1	2					
	応用物理特別実験第1	1通		4		1	2					
	応用物理特別実験第2	1通		4		1	2					
環境エネルギー工学特論	環境エネルギー工学特論	1・2前		2		1						隔年開講のため(24) 隔年開講のため(24) 退職のため(24) カリキュラム編成調整のため(24) 隔年開講のため(24) 退職に伴う担当教員の見直しのため(24)
	材料環境強度学特論	1・2前		2			1					
	エコマテリアル特論	1・2前		2		1						
	最適設計学特論	1・2後		2		1						
	環境材料学特別講義	1・2前		1								
	環境エネルギー工学演習	1通		2		1						
	材料環境強度学演習	1通		2			1					
	エコマテリアル演習	1通		2		1						
	最適設計学演習	1通		2		1						
	材料強度・再生学特別実験第1	1通		2		1	1					
	材料強度・再生学特別実験第2	2通		2		1	1					
	環境材料設計学特別実験第1	1通		2		1						
	環境材料設計学特別実験第2	2通		2		1						
	流体力学特論	1・2後		2			1					
	熱流動解析学特論	1・2前		2			1					
	光物質化学特論	1通		2			1					
	高速化学反応論	1・2後		2			1					
	環境計測制御学特別講義	1・2前		1								
	流体力学演習	1通		2			1					
	熱流動解析学演習	1通		2			1					

専攻 授業 科目	光物質化学演習	1通	2			1		
	高速化学反応論演習	1通	2			1		
	環境流体工学特別実験第1	1通	2		4	4		退職に伴う担当教員の見直しのため(24)
	環境流体工学特別実験第2	2通	2		4	4		退職に伴う担当教員の見直しのため(24)
	光計測制御学特別実験第1	1通	2			2		
	光計測制御学特別実験第2	2通	2			2		
	機能結晶化学特論	1・2前 未開講	2		1			
	環境触媒化学特論	1+2後	2		1			隔年開講のため(24)
	環境材料設計学特論	1・2前	2			1		
	分子生物学特論	1・2前 未開講	2			1		
	環境機能物質学特別講義	1+2前	1					隔年開講のため(24)
	機能結晶化学演習	1通	2		1			
	環境触媒化学演習	1通	2		1			
	環境材料設計学演習	1通	2			1		
	分子生物学演習	1通	2			1		
	機能無機材料化学特別実験第1	1通	2		1	1		
	機能無機材料化学特別実験第2	2通	2		1	1		
	物質機能化学特別実験第1	1通	2		1	1		
	物質機能化学特別実験第2	2通	2		1	1		
	食品バイオテクノロジー	1前	2		1	2		
	応用食品プロセス工学	1前	2		4	4		退職に伴う担当教員の見直しのため(24)
	食品科学	1前	2					
	企業経営概論	1後	2					
	食品バイオテク実習	1前	1		1	2		
	食品プロセス実習	1通 未開講	1		2	1		
	機能性食品特別講義第1	1+2通 未開講	1					隔年開講のため(24)
	機能性食品特別講義第2	1+2通	1					隔年開講のため(24)
	食品バイオテク演習	1通	2			1		
	食品プロセス演習	2通	2			1		
	食品バイオテク実験第1	1通	2		1			
食品バイオテク実験第2	2通	2		1				
食品プロセス実験第1	1通	2			1			
食品プロセス実験第2	2通 未開講	2			1			
学外特別講義	1+2通 未開講	2		1			履修希望者がいなかったため(24)	
学外特別実習 (研究指導)	1+2通	2		1			履修希望者がいなかったため(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	80	0	80	0	80	0	80	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	材料環境強度学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
2	環境材料学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
3	高速化学反応論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
4	環境計測制御学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
5	環境触媒化学特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講のため
6	環境機能物質学特別講義	1	1・2前	専門	選択	隔年開講のため
7	機能性食品特別講義第1	1	1・2通	専門	選択	隔年開講のため
8	機能性食品特別講義第2	1	1・2通	専門	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>※大学の所見 当初より隔年開講となっており、平成25年度に開講予定のため、学生への影響はない。</p> <p>※学生への周知方法 専攻内のガイダンス及び履修案内で周知した。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.10}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 繊維・感性工学専攻 先進繊維工学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通	2			10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通	2			1						
	プログラミング言語特論	1・2前	2			1						
	計算理論	1・2前	2			1						
	MOT特論	1・2通	2			1						
	繊維技術士特論	1・2通	2									
	産学連携特別講義	1・2通	2			2						
	国際連携特別講義	1・2通	2			1						
	Textile Technology	1・2通	2			2	2					
専攻共通科目	繊維感性工学特論	1前	2			8	7					
	マーケティング特論	1・2前	2			1						
	English Presentation	1・2後	2				1					
	インターシップ実習	1・2通	1			1						
専攻授業科目	繊維材料学特論	1・2前	2			1						
	ヤーンテクノロジー特論	1・2前	2			1						
	テキスタイルデザイン特論	1・2後	2				1					
	先進繊維システム管理学特論	1・2前	2			1						
	インテリア工学特論	1・2後	2									
	先進繊維計測学特論	1・2前	2				1					
	繊維信号解析学特論	1・2後	2				1	+				昇進のため(24)
	繊維製品快適性評価特論	1・2前	2			1						
	繊維文化財学特論	1・2後	2			1						
	先進繊維工学演習Ⅰ	1前	1			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学演習Ⅱ	1後	1			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学演習Ⅲ	2前	1			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学演習Ⅳ	2後	1			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学特別実験Ⅰ	1前	2			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学特別実験Ⅱ	1後	2			5	2	+	1			昇進のため(24)
	先進繊維工学特別実験Ⅲ	2前	2			5	2	+	1			昇進のため(24)
先進繊維工学特別実験Ⅳ(研究指導)	2後	2			5	2	+	1			昇進のため(24)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	21	0	30	9	21	0	30	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 繊維・感性工学専攻 感性工学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOT特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
専攻共通科目	繊維感性工学特論	1前	2			8	7					
	マーケティング特論	1・2前		2		1						
	English Presentation	1・2後		2			1					
	インターンシップ実習	1・2通		1		1						
専攻授業科目 感性工学コース	製品生理学特論	1・2後		2			1					採用のため(24)
	感性計測特論	1・2前		2		1						
	感性デザイン特論	1・2後		2								
	認知心理学特論	1・2前		2			1					
	感性情報工学特論	1・2前		2			1					
	知能情報工学特論	1・2前		2			1					
	感性文化論	1・2前		2								
	感性材料学特論	1・2前		2			1					
	感性繊維化学特論	1・2後		2			1					
	感性製品工学特論	1・2後		2		1						
	感性製品設計特論	1・2前		2			1					
	衣服工学特論	1・2後		2			1					
	感性工学演習Ⅰ	1前	1			3	7		1			
	感性工学演習Ⅱ	1後	1			3	7		1			
	感性工学演習Ⅲ	2前	1			3	7		1			
	感性工学演習Ⅳ	2後	1			3	7		1			
	感性工学特別実験Ⅰ	1前	2			3	7		1			
	感性工学特別実験Ⅱ	1後	2			3	7		1			
	感性工学特別実験Ⅲ	2前	2			3	7		1			
	感性工学特別実験Ⅳ (研究指導)	2後	2			3	7		1			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	24	0	33	9	24	0	33	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 機械・ロボット学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1-2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1-2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1-2前		2		1						
	計算理論	1-2前		2		1						
	MOT特論	1-2通		2		1						
	繊維技術士特論	1-2通		2								
	産学連携特別講義	1-2通		2		2						
	国際連携特別講義	1-2通		2		1						
	Textile Technology	1-2通		2		2	2					
専攻共通科目	機械・ロボット学特論	1-2前	2			8	6					
	機能機械学演習Ⅰ	1前		1		4	4					
	機能機械学演習Ⅱ	1後		1		4	4					
	機能機械学演習Ⅲ	2前		1		4	4					
	機能機械学演習Ⅳ	2後		1		4	4					
	バイオエンジニアリング演習Ⅰ	1前		1		4	2					
	バイオエンジニアリング演習Ⅱ	1後		1		4	2					
	バイオエンジニアリング演習Ⅲ	2前		1		4	2					
	バイオエンジニアリング演習Ⅳ	2後		1		4	2					
	機能機械学特別実験Ⅰ	1前		2		4	4					
	機能機械学特別実験Ⅱ	1後		2		4	4					
	機能機械学特別実験Ⅲ	2前		2		4	4					
	機能機械学特別実験Ⅳ	2後		2		4	4					
	バイオエンジニアリング特別実験Ⅰ	1前		2		4	2					
	バイオエンジニアリング特別実験Ⅱ	1後		2		4	2					
	バイオエンジニアリング特別実験Ⅲ	2前		2		4	2					
バイオエンジニアリング特別実験Ⅳ	2後		2		4	2						
インターンシップ実習	1-2通		1		1							
専攻授業科目	生体機構学特論	1-2後		2			1					
	情報システム学特論	1-2後		2			1					
	生物流体力学特論	1-2前		2		1						
	バイオメカニクス特論	1-2前		2		1						
	メカトロニクス特論	1-2後		2		1						
	バイオリボティクス特論	1-2前		2		1						
	ナノ融合材料学特論	1-2後		2			1					
	複合材料力学特論	1-2後		2			1					
	破壊力学特論	1-2後		2		1						
	振動解析学特論	1-2後		2			1					
	熱工学特論	1-2前		2		1						
	流体工学特論	1-2前		2		1						
	電子工学特論	1-2前		2		1						
	ロボット工学特論 (研究指導)	1-2前		2			1					

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 40	科目 0	科目 41	科目 1 [0]	科目 40 [0]	科目 0 [0]	科目 41 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 化学・材料専攻 応用化学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOT特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
専攻共通科目	化学・材料演習Ⅰ	1前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅱ	1後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅲ	2前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅳ	2後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅰ	1前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅱ	1後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅲ	2前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅳ	2後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別講義	1・2前		2		13 14	20					退職のため(24)
	インターンシップ実習	1・2通		1		13 14	20					退職のため(24)
	技術経営工学特論	1・2前		2			1					教育効果の向上のため(24)
	専攻授業科目	応用化学コース	分子化学特論Ⅰ	1・2後		2		1				
分子化学特論Ⅱ			1・2前		2			1				
分子化学特論Ⅲ			1・2前		2			1				
反応化学特論Ⅰ			1・2前		2		1					
反応化学特論Ⅱ			1・2後		2			1				
反応化学特論Ⅲ			1・2前		2			1				
構造化学特論Ⅰ			1・2後		2		1					
構造化学特論Ⅱ			1・2後		2		1					
構造化学特論Ⅲ			1・2後		2			1				
構造化学特論Ⅳ			1・2前		2			1				
機能化学特論Ⅰ			1・2前		2		1					
機能化学特論Ⅱ			1・2前		2			1				
機能化学特論Ⅲ			1・2後		2			1				
機能化学特論Ⅳ (研究指導)			1・2前		2			1				

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 26	科目 0	科目 34	科目 8 [0]	科目 26 [0]	科目 0 [0]	科目 34 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 化学・材料専攻 材料化学工学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOT特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
専攻共通科目	化学・材料演習Ⅰ	1前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅱ	1後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅲ	2前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅳ	2後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅰ	1前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅱ	1後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅲ	2前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅳ	2後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別講義	1・2前		2		13 14	20					退職のため(24)
	インターンシップ実習	1・2通		1		13 14	20					退職のため(24)
	技術経営工学特論	1・2前		2		1						教育効果の向上のため(24)
専攻授業科目	移動現象論特論	1・2前		2			1					教育効果の向上のため(24)
	無機材料化学特論	1・2前		2			1					
	光材料化学特論	1・2前		2			1					
	プロセス開発工学特論	1・2後		2		1						
	資源エネルギー工学特論	1・2後		2		1						
	半導体工学	1・2後		2			1					
	材料反応設計特論	1・2前		2			1					
	界面科学特論	1・2後		2			1					
	反応システム工学特論 (研究指導)	1・2前		2			1					

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 21	科目 0	科目 29	科目 8 [0]	科目 21 [0]	科目 0 [0]	科目 29 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 化学・材料専攻 機能高分子学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	先端科学特別講義	1・2通		2		10	1					カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通		2		1						
	プログラミング言語特論	1・2前		2		1						
	計算理論	1・2前		2		1						
	MOT特論	1・2通		2		1						
	繊維技術士特論	1・2通		2								
	産学連携特別講義	1・2通		2		2						
	国際連携特別講義	1・2通		2		1						
	Textile Technology	1・2通		2		2	2					
専攻共通科目	化学・材料演習Ⅰ	1前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅱ	1後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅲ	2前	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料演習Ⅳ	2後	1			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅰ	1前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅱ	1後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅲ	2前	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別実験Ⅳ	2後	2			13 14	20					退職のため(24)
	化学・材料特別講義	1・2前		2		13 14	20					退職のため(24)
	インターンシップ実習	1・2通		1		13 14	20					退職のため(24)
	技術経営工学特論	1・2前		2			1					教育効果の向上のため(24)
専攻授業科目	生命高分子学特論Ⅰ	1・2前		2			1					
	生命高分子学特論Ⅱ	1・2後		2			1					
	生命高分子学特論Ⅲ	1・2後		2		1						
	生命高分子学特論Ⅳ	1・2前		2			1					
	高分子機能材料学特論Ⅰ	1・2前		2			1					
	高分子機能材料学特論Ⅱ	1・2後		2			1					
	高分子機能材料学特論Ⅲ	1・2前		2		1						
	合成高分子学特論Ⅰ	1・2前		2		1	1					
	合成高分子学特論Ⅱ	1・2後		2			1					
	合成高分子学特論Ⅲ	1・2後		2		1						
	分子集合機能学特論Ⅰ	1・2前		2			1					
	分子集合機能学特論Ⅱ	1・2通		2		1						
	分子集合機能学特論Ⅲ	1・2前		2			1					
	(研究指導)			—								

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 25	科目 0	科目 33	科目 8 [0]	科目 25 [0]	科目 0 [0]	科目 33 [0]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<理工学系研究科 応用生物科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置				備 考
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
共通科目	先端科学特別講義	1・2通	2			10	1				カリキュラム編成調整のため(24)
	情報基礎特論第1	1・2通	2			1					
	プログラミング言語特論	1・2前	2			1					
	計算理論	1・2前	2			1					
	MOT特論	1・2通	2			1					
	繊維技術士特論	1・2通	2								
	産学連携特別講義	1・2通	2			2					
	国際連携特別講義	1・2通	2			1					
	Textile Technology	1・2通	2			2	2				
専攻共通科目	応用生物科学演習Ⅰ	1前	1			11	7		1		
	応用生物科学演習Ⅱ	1後	1			11	7		1		
	応用生物科学演習Ⅲ	2前	1			11	7		1		
	応用生物科学演習Ⅳ	2後	1			11	7		1		
	応用生物科学特別研究Ⅰ	1前	2			11	7		1		
	応用生物科学特別研究Ⅱ	1後	2			11	7		1		
	応用生物科学特別研究Ⅲ	2前	2			11	7		1		
	応用生物科学特別研究Ⅳ	2後	2			11	7		1		
	インターンシップ実習	1・2通		1		1					
専攻授業科目	応用生態学特論	1・2前		2		1					
	保全環境学特論	1・2前		2			1				
	農産製造学特論	1・2前		2			1				
	資源微生物学特論	1・2前		2			1				
	応用微生物学特論	1・2後		2				1			
	応用昆虫学特論	1・2前		2				1			
	蚕利用学特論	1・2後		2		1					
	繊維生物学特論	1・2後		2		1					
	発生生物学特論	1・2前		2				1			
	家畜生産学特論	1・2後		2		1					
	遺伝育種学特論	1・2後		2		1					
	先進栽培学特論	1・2後		2		1					
	植物工学特論	1・2前		2				1			
	細胞生物学特論	1・2前		2					1		
	シルク加工学特論	1・2前		2		1					
	分子育種学特論	1・2前		2				1			
	生体材料学特論	1・2後		2		1					
	花き・野菜育種学特論	1・2後		2		1					
	ゲノム機能工学特論	1・2前		2							
	発酵食品学特論	1・2前		2		1					
遺伝子機能科学特論	1・2後		2		1						
応用生物科学特論 (研究指導)	1・2通		1								

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について, 届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても, 届出時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	32	0	40	8	32	0	40	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\text{該当なし}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成24年4月 専任教員1名を新規採用のため(24)		
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 室 15					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点
	〇〇学部	([])	([])	([])	()	()	()	
		([])	([])	([])	()	()	()	
計	([])	([])	([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
人文学部						1.07	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
人間情報学科	4	80	35	330	学士(文学)	1.03	平成7年度		
文化コミュニケーション学科	4	75	35	310	〃	1.11	〃		
教育学部						1.02	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口	
学校教育教員養成課程	4	220		880	学士(教育学)	1.02	平成11年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	〃	1.05	〃		
生涯スポーツ課程	4	25		100	〃	1.08	〃		
教育カウンセリング課程	4	15		60	〃	1.00	〃		
経済学部						1.03	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
経済学科	4	125	320	540	学士(経済学)	1.03	〃		
経済システム法学科	4	60	310	260	〃	1.04	平成7年度		
理学部						1.00	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.00	平成7年度		
物理科学科	4	35		140	〃	1.05	〃		
化学科	4	35		140	〃	1.02	〃		
地質科学科	4	30		120	〃	1.00	〃		
生物科学科	4	30		120	〃	1.00	〃		
物質循環学科	4	25		100	〃	1.12	〃		
各学科共通			310	20		0.50			
医学部						1.00	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
医学科	6	115		633	学士(医学)	0.99	昭和26年度		
保健学科	4	143	317	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.01	平成14年度		
工学部						1.07	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	80	333	326	学士(工学)	1.04	平成10年度		
電気電子工学科	4	95	333	386	〃	1.07	平成元年度		
社会開発工学科	4	—		—	〃	—	〃		
土木工学科	4	45	322	184	〃	1.04	平成20年度		
建築学科	4	50	323	204	〃	1.11	〃		
物質工学科	4	60	333	246	〃	1.04	平成10年度		
情報工学科	4	90	353	370	〃	1.05	平成元年度		
環境機能工学科	4	50	332	204	〃	1.19	平成10年度		

大学の名称	信州大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
農学部						1.01	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.00	平成9年度	
森林科学科	4	61		244	"	1.00	"	
応用生命科学科	4	52		208	"	1.05	"	
各学科共通			310	20		0.90		
繊維学部						1.03	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号
応用生物科学科	4	—		—	学士(農学)	—	昭和60年度	平成20年度より学生募集停止
繊維システム工学科	4	—		—	学士(工学)	—	平成7年度	
素材開発科学科	4	—		—	"	—	昭和63年度	"
機能機械学科	4	—		—	"	—	昭和61年度	"
精密素材工学科	4	—		—	"	—	昭和62年度	"
感性工学科	4	—		—	"	—	平成7年度	"
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.11	平成20年度	〔創造工学系〕 H24から系が変更になったため、H21～H23の定員超過率を記載した。
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.05	"	
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.17	"	
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.01	"	〔応用生物学系〕 H24から系が変更になったため、H21～H23の定員超過率を記載した。
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)			
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)	"	"	〔繊維・感性工学系〕
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.06	"	
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.16	"	〔機械・ロボット学系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。 〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.03	"	
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)			
応用化学課程	4	37	31	150	学士(工学)	1.03	"	〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
材料化学工学課程	4	37	31	150	学士(工学)			
機能高分子学課程	4	36	32	148	学士(工学)	"	"	〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.00	"	
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

地球生物圏科学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
25	0	25	0	25	0	25	0	
(25)	(0)	(25)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

機械システム工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
19	2	21	0	16	4	20	0	
(16)	(4)	(20)	(0)	[△3]	[+2]	[△1]	[0]	

電気電子工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
22	1	23	0	23	2	25	0	
(23)	(2)	(25)	(0)	[+1]	[+1]	[+2]	[0]	

土木工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
15	0	15		14	0	14	0	
(14)	(0)	(14)	(0)	[△1]	[0]	[△1]	[0]	

建築学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
12	0	12	0	10	2	12	0	
(10)	(2)	(12)	(0)	[△2]	[+2]	[0]	[0]	

物質工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
15	0	15	0	15	0	15	0	
(15)	(0)	(15)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

情報工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
25	0	25	0	23	2	25	0	
(23)	(2)	(25)	(0)	[△2]	[+2]	[0]	[0]	

環境機能工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
11	0	11	0	11	1	12	0	
(11)	(1)	(12)	(0)	[0]	[+1]	[+1]	[0]	

繊維・感性工学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
17	6	23	0	19	4	23	0	
(19)	(4)	(23)	(0)	[+2]	[△2]	[0]	[0]	

機械・ロボット学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
16	3	19	0	15	3	18	0	
(15)	(3)	(18)	(0)	[Δ1]	[0]	[Δ1]	[0]	

化学・材料専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
38	3	41	0	36	2	38	0	
(36)	(2)	(38)	(0)	[Δ2]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	

応用生物科学専攻

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
19	1	20	0	22	0	22	0	
(22)	(0)	(22)	(0)	[+3]	[Δ1]	[+2]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<大学院理工学系研究科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有) ・ (無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 24年 6月 1日)